

ViPlex Handy

LAN ディスプレイ管理ソフトウェア

V3.0.2



ユーザーマニュアル

目次

目次.....	i
1 ソフトウェアのご案内.....	1
2 インストールの手順.....	2
3 端末へのログイン.....	3
4 スケジュールの作成.....	4
5 スケジュール配信.....	8
6 スクリーン構成.....	9
7 マルチスクリーンディスプレイ.....	13
8 スクリーンコントロール.....	15
9 システム設定.....	20
10 FAQ.....	22
10.1 ViPlex Handy のバージョンはどうしたら見られますか?.....	22
10.2 端末のソフトウェアのバージョンはどうしたら見られますか?.....	22
10.3 端末のソフトウェアのバージョンをアップグレードするにはどうしたらいいですか?.....	22

1 ソフトウェアのご案内

ViPlex Handy は、マルチプレイヤーTaurus シリーズや JT100 交通向けメディアプレイヤーなど様々な端末を管理する Android 版並びに iOS 版対応の LAN ディスプレイ管理ソフトウェアです。

ViPlex Handy の特徴は以下のとおりです。

- 親しみやすいインターフェースで、ユーザーフレンドリーな UI 設計。
- 操作が簡単で、端末にワイヤレスが可能、アクセスも容易。
- 複数のディスプレイで同一画面の再生が可能な同期再生に対応。
- スマート輝度調整によって、自動輝度調整とタイマー輝度調整が可能。
- WiFi AP と WiFi Sta モードの設定に対応したデュアル WiFi 機能を完備。
- 4G モジュールを持つ端末のモバイルデータネットワークの設定に対応した 4G 接続が可能。
- 同期または同期していないのデュアルモードは、ビデオ出力モードに対応。
- 画面サイズに応じた再生をするアダプティブ再生が可能。

2 インストールの手順

インストールパッケージのダウンロード

QR コードをスキャンし、Android と iOS 版のインストールファイルをダウンロードしてください。



ソフトウェアのインストール

インストールファイルを実行し、画面のメッセージに沿ってインストールを行ってください。

XI'AN NOVASTAR TECH CO.,LTD

3 端末へのログイン

操作場面

本章は Taurus を例に挙げ、ViPlex Handy によって WiFi AP に接続し端末にログインする方法についてご説明いたします。

前提条件

- Taurus の WiFi AP の SSID とパスワードを取得済み。
SSID の初期設定は「AP+SN と 8 桁の数字」、初期設定パスワードは「12345678」。
 - Taurus にログインするための「admin」ユーザーのパスワードを取得済み。
「admin」ユーザーの初期設定パスワードは「123456」。
- 情報のセキュリティを高めるために、初期パスワードの変更をお勧めします。

操作手順

手順 1 Taurus シリーズ製品の WiFi AP に接続します。

図3-1 WiFi 接続



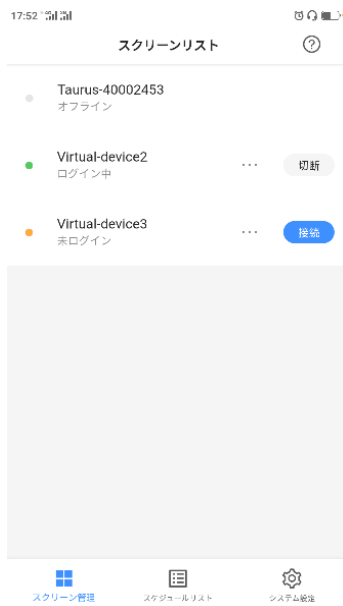
手順 2 ViPlex Handy を開きます。

初めてソフトウェアを開くときは、ダイアログボックス「ViPlex Handy プライバシーポリシー」が表示されます。「同意する」をタップすると、「ようこそ」画面に入ります。アプリを問題なく利用するには、「次へ」をタップしてください。

手順 3 スクリーンリストを最新の情報に更新し、Taurus 状態に従って適切な操作を行ってください。

ViPlex Handy において Taurus が自動的に検出され、スクリーンリストが最新の情報に更新されます。ユーザーは下へスワイプすることでスクリーンリストを手動で最新の情報に更新することもできます。

図3-2 スクリーンリスト



- (Orange dot) : Taurus がオンライン中、ログイン可を表します。手順 4 に沿って実行してください。
- (Grey dot) : Taurus がオフライン中、ログイン不可を表します。

手順 4 スクリーン名の後ろにある「接続」をタップします。

手順 5 「admin」ユーザーのパスワードを入力し、「OK」をタップします。

ログイン完了後、● (Green dot) が表示され、ViPlex Handy ではアカウント情報を自動保存します。

関連操作

- ログイン完了後、パスワードが弱いとチェックされた場合は、画面にパスワードを変更するメッセージが表示されますが、以下の操作を行うことができます。
 - 「今回は無視する」をタップし、パスワードを変更しません。
 - 「パスワード変更」をタップし、順番にスクリーンパスワードとホットスポットパスワードを変更します。
- Taurus がオンライン状態にある時は、***をタップすると以下の操作を行うことができます。
 - 「接続」：タップして Taurus に直接ログインします。
 - 「パスワードをクリア」：自動保存されている端末のログインパスワードをクリアします。(端末へのログインが完了したことがある場合の機能)
- ユーザーは Taurus にログイン後、*** をタップすると以下の操作を行うことができます。
 - 「切断」：ログイン状態からログアウトします。
 - 「名前を変更」：スクリーン名を設定します。

4 スケジュールの作成

注意事項

iOS 11.0 及びそれ以降のバージョンでスケジュールの編集や配信、再生を異常なく行うには、ユーザーは事前に以下の手順に従い設定する必要があります。

- 写真設定：「設定」>「写真」>「オリジナルファイルをダウンロード」して保存します。
- カメラ設定：「設定」>「カメラ」>「フォーマット」>「高互換性」。

操作手順

手順1 「スケジュールリスト」 ページにおいて、**+** をタップしてスケジュールを追加します。

図4-1 スケジュールリスト



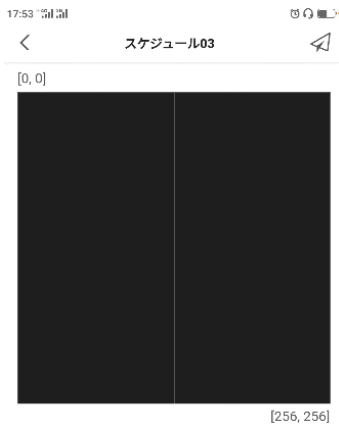
手順2 スケジュール名と解像度を設定し、テンプレートを選択して「OK」をタップします。
システムテンプレートかカスタムテンプレートを使用できます。

図4-2 スケジュール追加



手順3 「スケジュールリスト」にあるスケジュールをタップし、スケジュールを編集するページに入ります。

図4-3 スケジュール編集



手順 4 **错误!未找到引用源。**に示すように、スケジュールのレイアウトにある領域の任意の場所ををタップして編集を行います。

错误!未找到引用源。に示すように、スケジュールには領域が二つある場合は、左側領域を編集したいなら、その領域の任意の場所をタップしてください。

図4-4 領域ウィンドウ



手順 5 **+**をタップしてコンテンツを追加します。ViPlex Handy に対応できるコンテンツタイプは表 4-1 に示すようです。

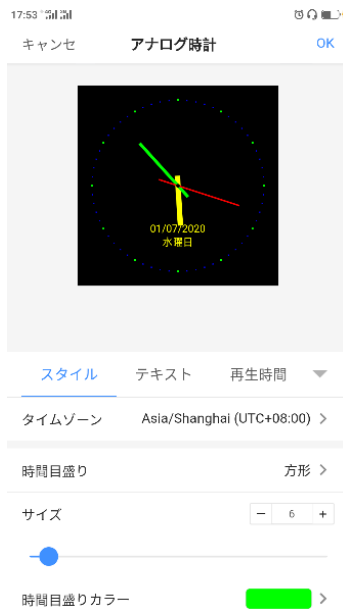
表4-1 コンテンツタイプ

メニュー名	説明
画像	画像の追加やその表示効果、再生時間、効果の設定に使用します。 追加方法 <ul style="list-style-type: none"> ● 撮影 ● 携帯のアルバムから選択 対応形式： JPEG、BMP、GIF、PNG、WEBP
ビデオ	ビデオの追加やその再生効果の設定に使用します。 対応形式： MPEG-1/2、MPEG-4、H. 264/AVC、MVC、Google VP8、H. 263、VC-1、Motion JPEG
GIF	GIF 画像の追加に使用します。
テキスト	単一行テキスト、複数行テキストの追加やそのプロパティ、再生時間、効果の設定に使用します。
アナログ時計	アナログ時計の追加やそのスタイル、文字、再生時間の設定に使用します。
デジタル時計	デジタル時計の追加やそのスタイル、文字、再生時間の設定に使用します。

メニュー名	説明
天気	天気パッケージの追加やそのスタイル、文字、再生時間の設定に使用します。

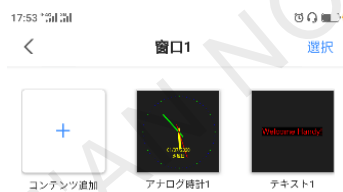
手順6 コンテンツプロパティを設定し、「OK」をタップします。
 コンテンツタイプごとにプロパティが異なります。例えば、図4-5に示すのはアナログ時計のプロパティです。

図4-5 アナログ時計コンテンツのプロパティ



手順7 コンテンツを追加完了後、 をタップしてスケジュールを編集する画面に戻ります。
 コンテンツを同時に複数追加することが可能です。コンテンツは先頭から順に再生され、ドラッグして再生順を変更することが出来ます。

図4-6 領域ウィンドウ



手順8 スケジュールには領域が複数含まれているか教えてください。

- はい、**手順 4～手順 7**に沿って実行を繰り返し、スケジュールにある全領域の編集を行います。
- いいえ、**手順 9**に沿って実行します。


手順9 スケジュールを編集完了後、 をタップし、端末を一つか複数選択して「配信開始」をタップします。

5 スケジュール配信

前提条件

適切な端末にログイン中。

関連情報

スケジュール編集完了後、 をタップしてスケジュールを配信することが出来ます。詳細は [4 スケジュールの作成](#) [错误!未找到引用源。](#) を参照。

その他の場合においては以下操作を行ってスケジュールを配信することが出来ます。


操作手順

手順1 「スケジュールリスト」 ページで「選択」をタップします。



手順2 スケジュール配信にチェックを付けます。



手順3  をタップし、端末を一つか複数選択して「配信開始」をタップします。



6 スクリーン構成

操作場面

LED ディスプレイコントロールシステムの構築が完了後、マッピングを行うと共に受信カードの論理的な接続を行うことで、スクリーンの表示が可能となります。

前提条件

- 適切な端末にログイン中。
- 「構成モード」にある場合は、この機能を利用できます。

図6-1 に示すように、「システム設定」ページから「モード選択」を「マッピングモード」に設定します。

図6-1 システム設定



操作手順

- 手順1 「スクリーンリスト」ページで端末名をタップします。
「スクリーン管理」画面に入ります。
- 手順2 「スクリーン構成」を選択します。
「スクリーン構成」の機能を設定する画面に入ります。

図6-2 スクリーン構成

スクリーン構成			
現在リードバックに対応せず、NovaLCTで構成されるスクリーンパラメータを表示します			
受信カードサイズ	幅	64	PX
	高さ	32	PX
受信カード数	列	2	
	行	2	
総画素ドット	128PX * 64PX		
ポート数	2		
ポート 1			
受信カード数	列	2	
	行	1	
総画素ドット	128PX * 32PX		
座標オフセット	X軸	0	Y軸 0

手順3 をタップします。

手順4 「受信カード設定」の段階では、受信カード1枚当たりローディングするサイズや受信カード列数・行数の設定を行い、「次へ」をタップします。

図6-3に示すように、受信カードについて1枚当たりサイズ64 px × 32 px、2列・2行と分布しています。

図6-3 受信カード設定

17:55 100% 17:55 100%

スクリーン構成

現在リードバックに対応せず、NovaLCTで構成されるスクリーンパラメータを表示します

1 2 3
 受信カード設定 ポート数 ポート構成

受信カードサイズ	幅	64	PX
	高さ	32	PX
受信カード数	列	2	
	行	2	
総画素ドット	128PX * 64PX		

次へ

手順5 「ポート数」の段階では、マルチメディアプレイヤーがローディングするディスプレイのポート数の設定を行い、「次へ」をタップします。

図6-4 ポート数



手順6 「ポート構成」の段階では、ポートごとにローディングする受信カード数や画面のオフセット量、受信カードのルーティング方法の設定を行います。

例えば、図6-5と図6-6に示すように、ポート1とポート2がそれぞれ受信カード2列1行をローディングしていますが、ポート1の場合は出力画面のオフセットがなく、ポート2の場合は出力画面の垂直オフセットが32 px となっています。

図6-5 ポート1構成



図6-6 ポート2構成



手順7 「完了」をタップし、スクリーン構成を終了します。

7 マルチスクリーンプライス

操作場面

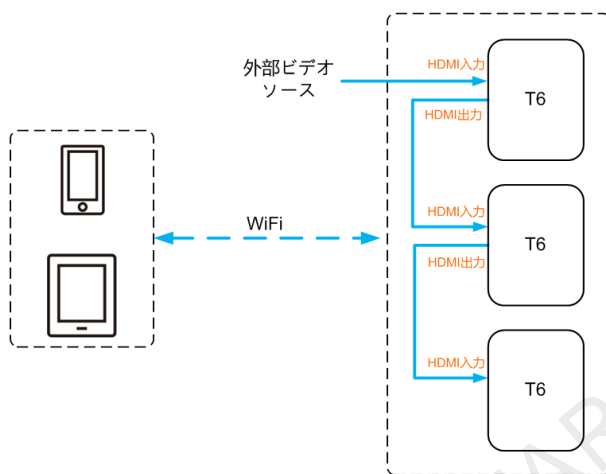
「マッピングモード」にある場合は、この機能を利用できます。

同じ仕様の複数のスクリーンをスムーズに貼り合わせるのに使用します。左から右の水平な貼り合わせのみ対応しています。

前提条件

- ハードウェア接続完了。図 7-1 に示すのは 3 台の T6 を貼り合わせて外部ビデオソースを使用する事例です。

図7-1 端末接続例



- 適切な端末にログイン中。
- 「構成モード」にある場合は、この機能を利用できます。

図 7-2 に示すように、「システム設定」ページから「モード選択」を「マッピングモード」に設定します。

図7-2 システム設定



操作手順


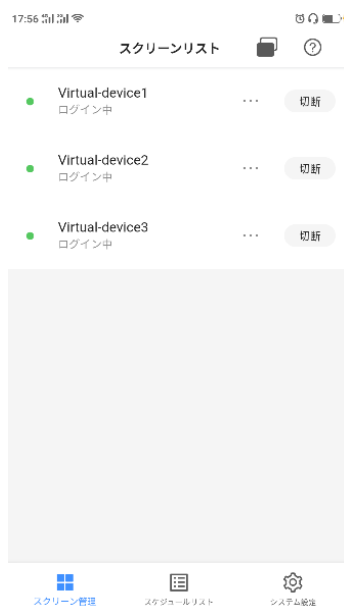
手順1 「スクリーン管理」ページにおいて、右上にある をタップします。

図7-3 スクリーン管理




手順2 シングルローディングサイズを入力すると共に「検索」をタップし、スクリーンを検索します。

画面には、検索条件に一致したオンライン中の端末とスプライス順が設定されたオフライン中の端末が表示されます。

図7-4 マルチスクリーンズプライス



手順3 (任意選択)  をタップし、スプライス順が設定されたすべての端末に対してスプライス順に小さい方から大きい方へと並べていきます。

手順4 「スプライス」をタップし、「スプライス設定」画面に入ります。

図7-5 スプライス設定




手順5 スプライスのスクリーン数を設定します。

スクリーン数は「ビデオソース幅 / 端末ローディング幅」で整数とする値以下にしてください。

手順6 スクリーンのスプライス順を設定します。

手順7 一番目のスクリーンのビデオソースは内部ソースかHDMI に設定します。

手順8 (任意選択)  をタップしてスクリーンの順序番号を削除します。「X位置」が「0」に自動設定されます。

手順9 「OK」をタップします。

8 スクリーンコントロール


操作場面

スクリーンに対してリアルタイムなコントロールやタイマーコントロール、時間同期の構成などを行うことができます。

前提条件

適切な端末にログイン中。

操作手順

手順1 端末名をタップし、 に示すように、「スクリーン管理」の機能を設定する画面に入ります。

機能モジュールをドラッグして並び替えを変更出来ます。

図8-1 スクリーン管理



手順2 機能アイコンをタップして、機能を設定する画面に入ります。

機能モジュールは表 8-1 に示すようです。

表8-1 機能について

メニュー	サブメニュー	説明
ファーストコントロール	タイムゾーン	設置 UTC 時区。UTC タイムゾーンを設定します。
	時刻	タイムゾーンの時間を表示します。
	ボリューム調整	スライダをドラッグするかプラス・マイナスボタンを押し、音量を調整します。
	色温度	クールホワイトやピュアホワイト、ナチュラルホワイトなどディスプレイの再生画面の色温度を設定します。
スクリーン設定	スクリーン状態のコントロール	スクリーン状態とそのコントロールルールを手動設定します。
	輝度コントロール	輝度を手動調整し、スマート輝度の調整ルールを設定します。
	受信カード構成 (Android 版のみ対応)	拡張子が、rcfgx の受信カードのプロファイルを端末に送信するのに使用します。 ロード前に、環境設定ファイルを携帯電話に保存する必要があります。
	タイマー再起動リスト	スクリーンのタイマー再起動ルールを設定します。
詳細設定	パスワード	端末のログインパスワードを変更します。 初期ユーザー名は「admin」、初期パスワードは「123456」です。初期パスワードの変更をお勧めします。
	アップグレード	端末ソフトウェアと端末システムをアップグレードします。端末ソフトウェアには端末アプリケーションソフトウェアと FPGA プログラムが含まれます。詳細は 10.3 端末のソフトウェアのバージョンをアップグレードするにはどうしたらいいですか? を参照

メニュー	サブメニュー	説明
		照。 <ul style="list-style-type: none"> Android 版の場合は、最新アップグレードパッケージはクラウドからダウンロードしたり、携帯電話にあるソフトウェアから自動認識することができます。 iOS 版の場合は、最新アップグレードパッケージはクラウドからダウンロードするしか取得方法がありません。
	時刻合わせ	端末の時間同期ルールの設定に使用します。 端末同士の画面の同期再生を可能にするには、時間同期が不可欠です。
	詳細機能	<ul style="list-style-type: none"> 「同期再生」：同期再生機能をオンまたはオフにします。オンにした場合、異なる端末が時間同期を行います。再生するスケジュールが同じであれば、複数のスクリーンの同期再生が可能です。 「解像度」：端末の解像度を設定します。 「再起動」：端末を再起動します。 「コンテンツをすべてクリアする」：端末に保存したすべてのコンテンツをすべてクリアします。 「工場出荷時の設定に戻す」：端末を出荷時の設定に戻します。
ネットワーク設定	ワイヤレスネットワーク設定	端末の WiFi AP の SSID とパスワード及び端末の WiFi Sta モードを設定します。 外部ルーターを使用して端末に接続する場合は、WiFi Sta モードをオンにして、外部ルーターの WiFi ネットワーク名をタップして WiFi パスワードを入力してください。
	ワイヤードネットワーク設定	DHCP のオンまたはオフにします。 LAN ケーブルを使用して端末に直接接続する場合は、DHCP をオフにして、静的 IP アドレスに関する情報を設定します。
	モバイルデータ設定	モバイルデータネットワークをオンまたはオフにします。 端末に 4G モジュールがある場合は、モバイルデータで端末に接続する際に、モバイルネットワークをオンにしてください。画面に通信キャリアの情報が表示されます。
モニタリング	環境輝度	環境輝度を表示します。この機能を有効にするには、端末に光ファイバープローブ端末を接続する必要があります。
	温度	受信カード温度を表示します。
	再生スクリーンショット	再生したい画面に対してスクリーンショットを行います。
	システムパラメータ	CPU 使用率、空きメモリ、外部ストレージを表示します。
	時間パラメータ	端末のタイムゾーンと時刻を表示します。

メニュー	サブメニュー	説明
ビデオコントロール	-	ビデオ入力モード、ビデオソース、フルスクリーン スケーリング、アウトプットオフセット位置をコン トロールします。(Taurus のモデル T6/TB4/TB6/TB8 のみ対応) パラメータ「モード」値の意味は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> 「マニュアル」：同期または同期していないモー ドを即座に切り替えます。 「タイマー」：同期または同期していないモー ドを定期的に切り替えます。 「HDMI 優先」：HDMI 端子を優先して同期モー ドでビデオを再生します。
再生管理	-	端末で再生するスケジュールの開始、一時停止、削 除を行います。
遠隔管理	VNNOX Standard/AD	端末プレイヤーを VNNOX Standard/AD サービスにバ インドします。
	iCare	端末プレイヤーを iCare サービスにバインドしま す。
端末情報	-	端末名とアドレス登録の設定、端末におけるソフト ウェアのバージョン情報とサブソフトウェアのバー ジョン情報の表示を行います。

手順3 必要に応じて以下の操作を行います。

- 「スクリーン設定 > 輝度コントロール」：スマート輝度調整の設定を行うとき、「自動輝度調整」にする場合
は、「自動輝度調整パラメータ」の設定が必要となります。そうすると、スクリーン輝度は設定された起動時間
内に自動輝度調整パラメータ表によって自動調整されます。

図8-2 自動輝度調整ルール

11:19 11月19日 @ 09

キャンセル 追加 OK

調整モード 自動輝度調整 >

時刻 00:00:00 ▾

00	00	0
01	01	1
02	02	2

リピート方法 毎日 >

有効期限 2020-07-02~永続有効 >

図8-3 自動輝度調整表

ファースト分割				
01	2000	Lux	30.0	%
02	2300	Lux	35.0	%
03	2600	Lux	40.0	%
04	2900	Lux	45.0	%
05	3200	Lux	50.0	%
06	3500	Lux	55.0	%
07	3800	Lux	60.0	%
08	4100	Lux	65.0	%
09	4400	Lux	70.0	%
10	4700	Lux	75.0	%
11	5000	Lux	80.0	%

- 「詳細設定 > 時間同期」。必要に応じて時間同期方法を選択すると共に関連パラメータの構成を行い、「完了」をタップします。
 - NTP 時間同期：「NTP サーバー」を時間基準とし、カスタムサーバーの追加が可能です。

図8-4 NTP 時間同期



- 無線周波数の時間同期：グループ ID を設定し、現在端末をマスターデバイスにするかスレーブデバイスにします。マスターデバイスを NTP サーバーを経由して時間同期する場合は、自動時間同期を有効にし、NTP サーバーを設定します。

図8-5 無線周波数の時間同期



- 「遠隔管理」：図 8-6 と図 8-7 に示すように、VNNOX Standard/AD サービスと iCare サービスに接続し、構成を行うときは認証情報を入力する必要があります。


認証情報の表示：VNNOX (www.vnnox.com) にログインし、クラウドプラットフォームのホーム「 > プレイヤー認証」を選択します。

図8-6 VNNOX Standard/AD へのバインド



図8-7 iCare へのバインド



9 システム設定

メニュー名	説明
ヘルプ	ソフトウェアのバージョン、著作権情報、メールアドレス、操作説明書の表示に使用し、また、「フィードバック」を送信することもできます。
言語	ソフトウェアの言語設定に使用します。
モード選択	ソフトウェアを使用するモードの設定に使用します。初期設定はユーザーモードです。 <ul style="list-style-type: none"> 「ユーザーモード」：主に一般ユーザーに使用します。 「マッピングモード」：主にテクニカルサポートエンジニアに使用します。ユーザーモードと比較して「スクリーン構成」と「マルチスクリーンスプライス」が追加され、適切な専門知識や経験が求められます。

メニュー名	説明
横縦画面	スクリーン方向の設定に使用します。初期設定は縦画面です。
デモモード	デモモードをオン・オフにするのに使用します。 デモモードをオンにするときは、ユーザーは端末に接続しなくてもすべての機能を利用できます。

XI'AN NOVASTAR TECH CO.,LTD

10 FAQ

10.1 ViPlex Handy のバージョンはどうしたら見られますか？

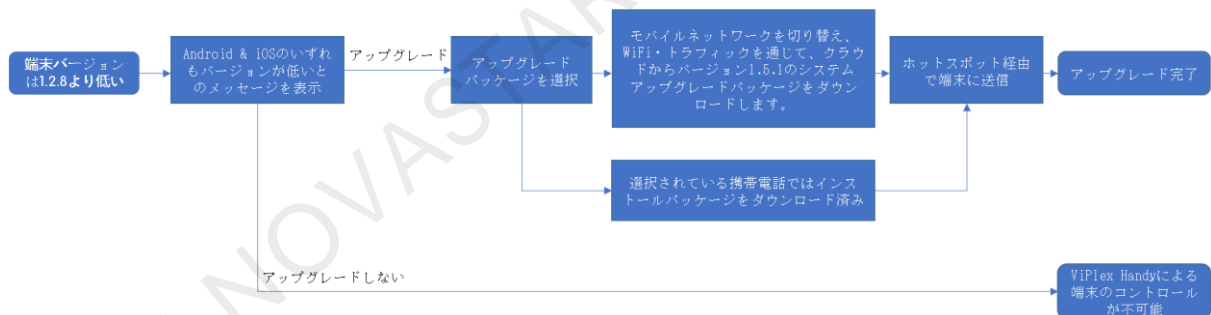
- 手順1 「システム設定」>「ヘルプ」を選択します。
- 手順2 ViPlex Handy ソフトウェアのバージョンを確認します。

10.2 端末のソフトウェアのバージョンはどうしたら見られますか？

- 手順1 端末にログインします。
- 手順2 スクリーン名をタップし、「スクリーン管理」画面に入ります。
- 手順3 「端末情報」を選択します。
- 手順4 端末のソフトウェアバージョン情報及びサブソフトウェアバージョン情報を確認します。

10.3 端末のソフトウェアのバージョンをアップグレードするにはどうしたらいいですか？

アップグレードポリシー



- 端末バージョン<V1.2.8の場合は、ViPlex Handy を開くと画面でバージョンが低いとのメッセージが表示され、アップグレードページに移動するよう誘導します。ViPlex Handy を使い続けるには、アップグレードしてください。
- 端末バージョン≥V1.2.8の場合は、必要に応じて端末バージョンをアップグレードすることが出来ます。

操作手順 (端末バージョン<V1.2.8)

- 手順1 ViPlex Handy を開き、端末にログインします。

図10-1 画面メッセージ



手順2 ダイアログボックスの「アップグレード」をタップし、「アップグレード」画面に入ります。

- Android 版の場合は、アップグレードパッケージはクラウドからダウンロードしたり、携帯電話にあるソフトウェアから自動認識することができます。
アップグレード前に、ソフトウェアのアップグレードパッケージを携帯電話のローカルに入れば、ViPlex Handy がソフトウェアアップグレードパッケージを自動認識し、「アップグレード」画面を表示します。この場合は、「アップグレード」をタップします。
- iOS 版の場合は、アップグレードパッケージはクラウドからダウンロードするしか取得方法がありません。

図10-2 アップグレード画面



- 手順3 モバイルネットワークを切り替え、常にワイドエリアネットワークに接続しているように確保して「最新の情報に更新」をタップし、クラウドからバージョン V1.5.1 のアップグレードパッケージを取得します。

図10-3 ワイドエリアネットワーク経由でアップグレードパッケージを取得



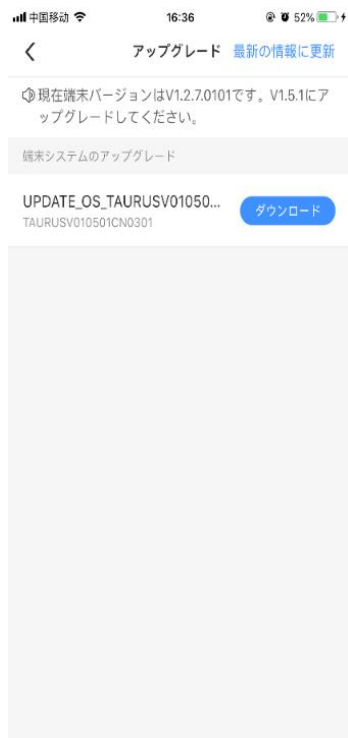
- 手順4 アップグレードパッケージの後ろにある「ダウンロード」をタップし、トラフィックに関するメッセージボックスで「ダウンロード再開」をタップします。

図10-4 トラフィックに関するメッセージ



ダウンロード完了後、「ダウンロード」ボタンが「アップグレード」ボタンになります。

図10-5 ダウンロードタスク完了



手順5 携帯電話は端末のWiFi AP に再接続します。

図10-6 端末 WiFi AP



手順6 アップグレードパッケージの右側にある「アップグレード」をタップします。

しばらくすると、端末バージョンはV1.5.1 にアップグレードします。

図10-7 アップグレード完了



操作手順 (端末バージョン≥V1.2.8)

手順1 ViPlex Handy を開き、端末にログインします。

手順2 端末名をタップし、「スクリーン管理」画面には入ります。

手順3 「詳細設定 > アップグレード」を選択します。

- Android 版の場合は、アップグレードパッケージはクラウドからダウンロードしたり、携帯電話にあるソフトウェアから自動認識することができます。

アップグレード前に、ソフトウェアのアップグレードパッケージを携帯電話のローカルに入れれば、ViPlex Handy がソフトウェアアップグレードパッケージを自動認識し、「アップグレード」画面を表示します。この場合は、「アップグレード」をタップします。

- iOS 版の場合は、アップグレードパッケージはクラウドからダウンロードするしか取得方法がありません。

手順4 クラウドから最新バージョンのアップグレードパッケージを取得するために、モバイルネットワークを切り替え、常にワイドエリアネットワークに接続しているように確保します。

手順5 アップグレードパッケージの後ろにある「ダウンロード」をタップし、トラフィックに関するメッセージボックスで「ダウンロード再開」をタップします。

ダウンロード完了後、「ダウンロード」ボタンが「アップグレード」ボタンになります。

手順6 携帯電話は端末の WiFi AP に再接続します。

アップグレードパッケージの右側にある「アップグレード」をタップします。

著作権は © 2020 Xi'an NovaStar Tech Co., Ltd. が所有しています。無断複写または転載を禁じます。

当社の書面による許可なしに、この文書の内容の一部またはすべてをコピー並びに複製することを禁止します。また、いかなる形式でも送信することを禁止します。

ブランドステートメント

 **NOVA STAR** はNovaStarの登録商標です。

ステートメント

Xi'an NovaStar Tech Co., Ltd.の製品をご利用いただき誠にありがとうございます。この文書が、お客様の製品の理解と使用の助力となり便利になることを期待しております。文書の作成において正確かつ信頼できるものであるよう努めておりますが、予告無く変更になる場合があります。何卒ご了承ください。ご利用中にご意見またはご質問等がありましたら、記載した連絡先までご連絡ください。当社ではご利用中にあったご不明な点について対応し、ご意見については謝意を表すとともに早期に評価の上採用させていただきます。

公式サイト
www.novastar.tech

技術サポート
support@novastar.tech